

## インドネシア金融政策(2018年5月)

### ～予防的に主要政策金利を引き上げ、通貨防衛姿勢を強める～

2018年5月31日

#### お伝えしたいポイント

- ・ インドネシア銀行(中央銀行)は通貨防衛のため予防的に主要政策金利を引き上げ
- ・ 新総裁の通貨防衛への強い意志はインドネシア・ルピアの下支え要因に

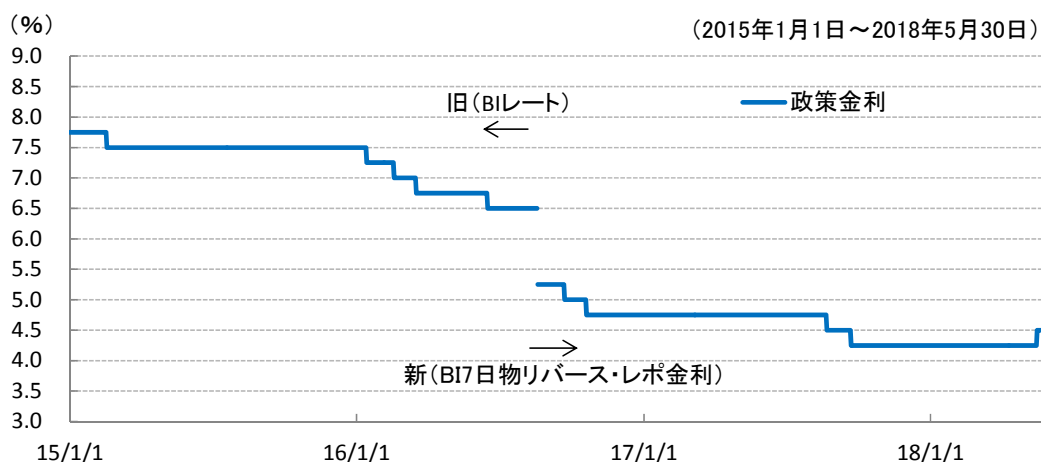
#### <インドネシア銀行は通貨防衛のため予防的に主要政策金利を引き上げ>

5月30日(現地、以下同様)、インドネシア銀行(中央銀行)は主要政策金利であるBI7日物リバース・レポ金利を0.25%ポイント引き上げ、4.75%にしました。また、預金ファシリティ金利を4.00%に、貸出ファシリティ金利を5.50%にそれぞれ0.25%ポイント引き上げました。インドネシア銀行は5月17日の通常の金融政策決定会合において利上げを行いました。ペリー・ワルジヨ新総裁の就任後に、追加の臨時会合を5月30日に行うと発表していました。

インドネシア銀行は声明文で、国際金融市場の不確実性の高まりや米国の利上げが予想される中で為替の安定性を維持するため、予防的に今回の利上げを行ったと説明しています。また今後については、国内外の経済動向を注視しつつ、必要があれば追加利上げを行うと述べています。

足元では米国金利の上昇が続いており、対米金利差の縮小を背景に、新興国からの資金流出懸念が高まっています。そのため、インドネシア・ルピアを含む新興国通貨の下落が続いていたことから、インドネシア銀行は通貨防衛のため5月17日にも利上げを行いました。今回の利上げについては、6月に米国で開催されるFOMC(米国連邦公開市場委員会)で利上げが見込まれ、さらなる対米金利差の縮小が想定されることから、予防的に利上げを行ったとみられます。

#### 《主要政策金利の推移》



(注)インドネシア銀行は2016年8月19日に政策金利をBIレートからBI7日物リバース・レポ金利へ変更。

(出所)ブルームバーグ

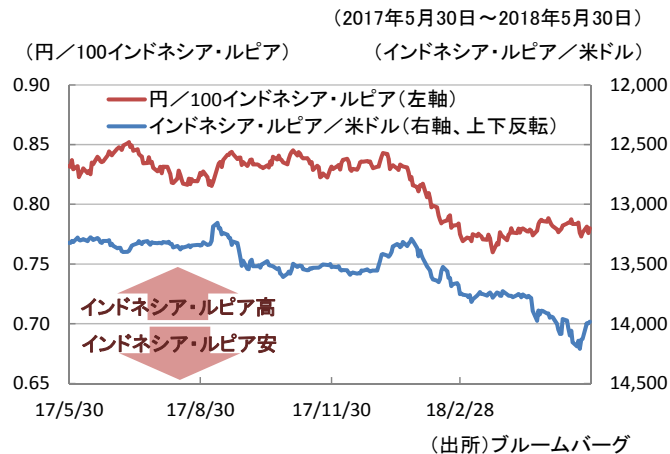
※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## <新総裁の通貨防衛への強い意志はインドネシア・ルピアの下支え要因に>

ペリー・ワルジヨ新総裁は就任後の会見で、為替の安定化の主たる手段に金融政策を利用すると述べています。実際に今回の利上げを受け、インドネシア銀行の新総裁が金融の安定化に積極的で、通貨防衛への強い意志があることが示されました。そのため、今後インドネシア・ルピアの動向次第では、追加的な利上げの可能性も考えられ、こうした新総裁の通貨防衛への強い意志はインドネシア・ルピアの下支え要因になると考えています。

以上

### 《為替の推移》



## <ご参考> 当社の関連リサーチ

### ◇マーケットレター

- ・インドネシア金融政策(2018年5月)～通貨防衛のため主要政策金利を引き上げ～(2018/5/18)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20180518\\_2.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180518_2.html)
- ・インドネシア金融政策(2017年9月)～前回8月に続き主要政策金利を引き下げ～(2017/9/25)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170925\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170925_1.html)
- ・インドネシア金融政策(2017年8月)～主要政策金利を引き下げ～(2017/8/24)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170824\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170824_1.html)
- ・最近のインドネシアの格付け動向について～さらなる信用力の向上に期待～(2017/5/24)  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170525\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170525_1.html)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

# 大和投資信託

Daiwa Asset Management